



就任のあいさつ



さぬき市病院事業管理者・市民病院長 石井 知也



2024年4月1日よりさぬき市病院事業管理者兼さぬき市民病院長に就任しました。さぬき市民病院はその名の通り、さぬき市民のための病院であり、広義には東讃地区の医療の要となる病院です。当院の主な役割は、診療所などの外来を中心とした一般医療を提供する「一次医療機関」と専門病院などの高度・専門的な医療を提供する「三次医療機関」の中間で入院治療を必要とする重症患者の医療を担当する『二次医療機関』として機能することにあります。そこで、さぬき市民病院の目指すべき将来像、ビジョンとして『市民のためのトータルヘルスケア』を掲げたいと思います。そのビジョンの実現に向けた取り組みとして以下の9本柱を挙げて今後の病院を運営していきたいと考えています。

- 1 大川保健医療圏の第二次救急医療施設の中核としての救急医療体制の構築
- 2 香川大学医学部附属病院をはじめとする第三次救急医療施設との連携の強化
- 3 住み慣れた環境で安心して生活できるように第一次医療施設との連携の強化
- 4 災害発生時の地域災害医療センターとしての災害医療の提供
- 5 東讃地区唯一の分娩医療機関としての周産期医療の提供
- 6 安心して子育てできる環境を支える小児医療の提供
- 7 病気の予防から早期発見・早期治療までを一元的に提供する健診事業の充実
- 8 多職種による専門性の高いチーム医療の提供
- 9 医療機関や社会福祉機関と緊密に連携した地域包括ケアシステムの構築

ここで特筆すべきは、2023年9月に『国立大学法人香川大学とさぬき市との連携協定書』が締結されたことです。この協定書は香川大学および香川大学医学部附属病院とさぬき市民病院が双方向的に人材交流、人材育成を行うことを目的としており、今後我々はさらに強固な協力関係を築いていくこととなります。

このように、周辺の医療機関や社会福祉機関とも緊密に連携を取りながら『市民のためのトータルヘルスケア』を提供するために努力して参りますので、これまで以上のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

DMAT 活動報告会

3月15日（金）、石川県の能登半島地震の被災地にて派遣活動を行っていた DMAT 隊員が、報告会を行いました。

約35名の職員が報告会に参加し、現地の状況や活動内容などを傾聴しました。被災地の1日も早い復興を心より願っています。



活動記録や活動を通して感じたこと、それぞれの役割等を報告しました。



献血

3月27日（水）、当院にて香川県赤十字血液センターによる献血を行いました！ご協力いただきました皆様、ありがとうございました！



石井病院長着任式



4月1日、新しく病院長として就任されました石井知也氏の着任式が行われました。

着任式には多くの職員が参加しました。

これまで以上に、地域医療へ貢献できますように、職員一同努めて参りますので、これからもどうぞよろしくお祈りいたします！！



産後ケア事業について

近年、少子化・核家族化、家族や社会とのつながりの希薄化による子育ての孤立など、子育て世代を取り巻く環境が大きく変化しています。このような中、気軽に相談できる人や場所があるということは必要不可欠であり、妊娠中から子育て期まで切れ目のないケアが求められています。当院では、平成29年4月から産後ケア事業を開始しています。利用者は令和5年度に3名、今年度は既に8名の母子が利用されており、増加傾向にあります。産後ケア事業は、当院助産師が地域で子育てする母親に出産後も継続して支援することができるシステムです。子育て相談や乳房ケア、足浴やマッサージなど個々に応じたケアを行い、母子が安心して休息が図れるよう支援しています。また、安全に過ごせるよう畳の部屋を利用したり、母の昼食と一緒に離乳食を提供したりと、様々な月齢に応じた支援を行っています。

今後も地域医療を担う病院で働く助産師として、母子とその家族に寄り添い、地域で安心して子育てを継続できるよう産後ケア事業の充実を図っていきます。



再開しました!!!

健康出前講座

コロナ禍により中止をしていた健康出前講座ですが、4月1日より再開しました!

当院ホームページに記載しているメニューからご希望の演題を選んでいただき、お申し込みください。

詳しくは当院ホームページを確認、またはプロジェクト推進室までお問合せください!!!

健康出前講座とは、...

住民の皆さんの健康及び医療に関する意識を高めるとともに、市民病院の診療内容等をよく知っていただくため、自治会、老人会、同好会などの会合に講師が出向いてお話をします。

講演料は無料です。



過去の開催のようすです



栄養コラム

6月

さぬき市民病院
栄養管理科発行

手洗い方法 正しく出来ていますか？

6月になり、食中毒が発生しやすい時期になってきました。食中毒予防に手洗いはとても大切ですが、みなさん手洗いをしっかり意識してできていますか？
手洗い方法や回数によって、残存ウイルス数は全く変わってきます。



手洗いなし
ウイルス数
約 100 万個



正しい手洗い

「ハンドソープで 10 秒もみ洗い後、
流水で 15 秒すすぐ」を2回繰り返す

手洗い後
ウイルス数
約数個



菌は知らないうちに
手に付着しています！

いつ手を洗うのか？

嘔吐物や下痢便の処理後
トイレの後
帰宅後
調理前および調理中
(生の肉類、魚介類、卵殻などの食品に触れた後など)

手はこまめに
洗いましょう！



厚生労働省「手洗いの時間・回数による効果」参照

チューボーだよ！

当院では、ブラックライトやルミテスターという検査器具を使用して、**見えない汚れ**を見える化して、手指衛生の重要性を定期的に確認しています。

ルミテスターで検査



ブラックライト
で洗い残し確認！

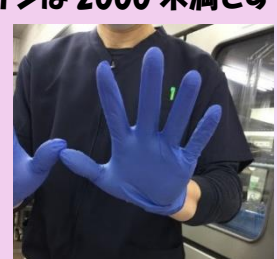
※ルミテスターの手指の検査値合格ラインは 2000 未満です！



手洗い後
1982



アルコール噴霧後
1503



手袋着用後
39

お食事に関してわからないこと等がありましたら、遠慮なく管理栄養士におたずねください。

